



各位 CAXA



平成27年6月26日

会社名 株式会社サハダイヤモンド  
代表者名 代表取締役社長 姜 杰  
(コード: 9898、東証JASDAQ)  
問合せ先 代表取締役副社長 井上 喜明  
(TEL. 03-3846-2061)

## 当社株式の「業績」に係る猶予期間入りに関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成24年3月期から平成27年3月期までの4期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローの額が負の状態となったことから、有価証券上場規程第604条の2第1項第2号に該当する為、上場廃止に係る猶予期間入りしたことが、株式会社東京証券取引所より発表されましたので、以下のとおりお知らせいたします。なお、これにより当社は、平成28年3月期に営業利益及び営業キャッシュ・フローが負の場合は、上場廃止となります。

### 記

#### 1. 最近4連結会計年度における営業利益及び営業キャッシュ・フローの額が負となった経緯

当社は平成9年(当時)に親会社であったイスラエルのダイヤ業者との取引で多大な不良債権を発生させ、以来、業界における信用力が低下し、きわめて厳しい業績を強いられてきました。

その後、平成23年5月に中国のユーロスター上海の資本参加を得て、同社と業務提携を行い、業績の回復に努めてまいりました。

その結果、ロシア連邦サハ共和国におけるダイヤモンド研磨事業が軌道に乗り、新たに新設した中国上海の子会社も順調に業績を伸ばしてまいりました。一方、国内の店舗及びインターネットでのダイヤモンド販売事業は不振を極め、それに伴う人材の流出もあって大幅な事業縮小を余儀なくされ、慢性的な赤字体質から脱却できないまま現在に至っております。

また、上場維持費を始めとした本部費用の負担が大きく、単体及び連結での営業損失及び負の営業キャッシュ・フローを解消することができませんでした。

#### 2. 猶予期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日

#### 3. 今後の見通し

当社グループは、平成24年3月期から平成27年3月期までの4期連続して営業利益及び営業キャッシュ・フローの額が負の状態となりました。当社グループの最大の課題は、企業体質の改善による収益力の向上であります。そこで、当社グループ各社は、今後、それぞれの特長を全面に打ち出し、営業利益及び営業キャッシュ・フローの改善を図ってまいります。

具体的には、当社は、平成28年3月期においては、次のとおり、各事業を推進してまいります。

##### (海外事業)

当社の海外子会社維真珠宝(上海)有限公司が運営する中国のジュエリー11店舗では集客の強化を図っておりますが、中国国内の消費需要の落ち込みも勘案し、売上高は小売販売で260百万円、卸販売では588百万円、合計で848百万円(前年度比23%減)を目標としております。

##### (ダイヤモンド事業)

当社の子会社である株式会社バージンダイヤモンドは、インターネット及びバージンダイヤモンドショールー

ムにて、ブライダルジュエリーを販売しておりますが、競争の激化するブライダルジュエリー市場において、ブランドの確立が出来ずにいることから売上が振るわず、平成28年3月期は売上高75百万円（前年比48%減）を目指してまいります。

（ダイヤモンド研磨事業）

当社の海外子会社公開型株式会社サハダイヤモンド（ロシア）は世界的なダイヤモンドの需要増をにらんだ既存取引先からの受注増を見込んでおり、潤沢な供給量を確保する為に、原石の確保、自社研磨生産量を増加に努め、売上高2,556百万円（前年度比26%増）を目指し、ダイヤモンドの販売に注力してまいります。

（不動産賃貸事業）

テナント全室の貸出しを目標として売上高104百万円（前年比6.7%増）を目指しております。

当社グループは、これらの体制整備により、収益力の向上を目指し平成28年3月期の連結業績予想につきましては、売上高は3,580百万円（前年比10%増）となる見通しであります。

営業利益につきましては、売上高の一番高いダイヤモンド研磨事業で55百万円、海外子会社維真珠寶（上海）有限公司が運営する中国ジュエリー11店舗での販売及び卸販売では、利益率の低い卸販売を縮小して、利益率の高い小売販売に注力することにより、営業利益率の改善を図ることで、海外事業は営業利益92百万円を見込んでおります。それに不動産賃貸事業の営業利益24百万円と、ダイヤモンド事業の営業利益4百万円を加えて、当社グループ全体の営業利益は175百万円となります。しかしながら、販売管理費の嵩む本社営業損益145百万円も含めると、当社グループ全体で営業利益30百万円、経常利益18百万円、当期純損失60百万円となる見通しであります。

当年度は、現在のところロシアにおけるダイヤモンド研磨事業が堅調に推移しており、グループ全体として概ね計画どおりに推移しております。

コストダウン施策の実施及び強化により利益率の改善を図るべく、徹底した商品コストの見直しによる原価の削減、その他経費全般についての見直しを行い、改善してまいります。

当社においては、以上のような施策を着実に実行し、営業利益及び営業キャッシュ・フローの改善を図ってまいります。

もっとも、当社グループが属する宝飾品業界は価格競争により企業業績に関する不透明な状況があります。そのため、売上高が順調に推移したとしても、為替の影響や原材料の高騰で営業利益が圧迫されることも多く、また、贅沢品という性質上、社会不安や経済の失速に売上高が敏感に反応しやすい特徴があります。このため、当社においては、営業利益及び営業キャッシュ・フローが計画どおりに改善せず、上場廃止のリスクを孕んでおります。

今後、業績予想の修正が必要になりました場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上